



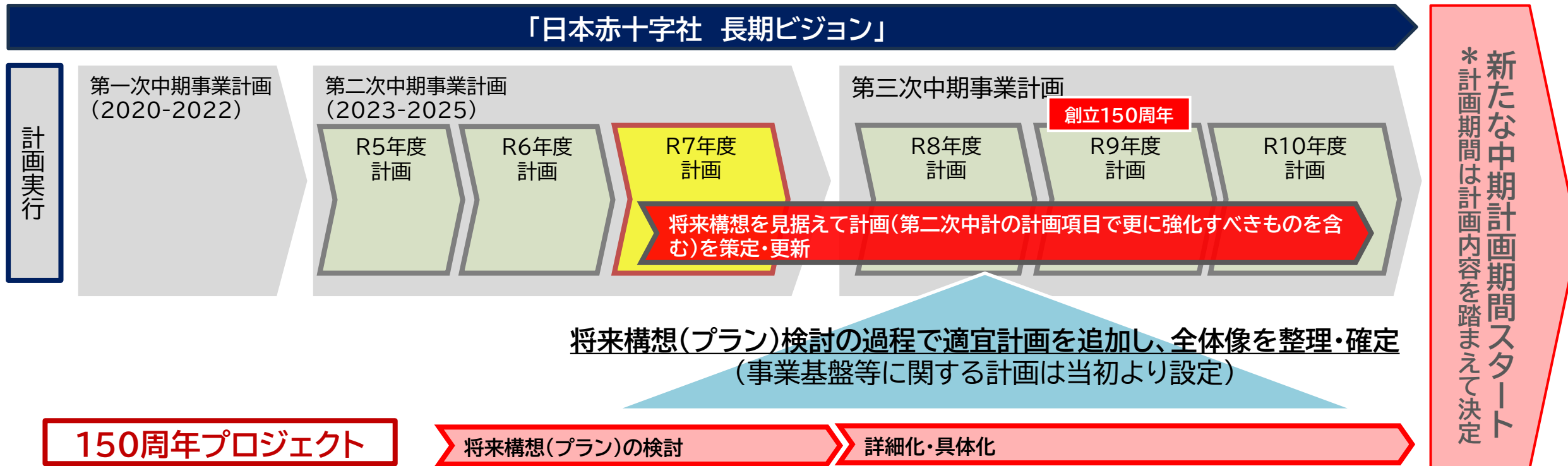
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



令和7年度事業報告・収支決算 (全体概要)

1. 日本赤十字社長期ビジョン・中期事業計画と創立150周年プロジェクト

- 創立150周年以降のあるべき姿を描く将来構想(以下「将来構想」という。)を視野に入れて並行して策定。(第二次中期事業計画の計画項目で更に強化すべき項目を含む)
- 将来構想の検討状況を踏まえて適宜第三次中期事業計画に計画を追加し、将来構想の完成後に改めて全体を整理・更新する。



2. 令和7年度の主な取り組み

(1) 中期事業計画の横断的テーマに基づく主な取り組み

① 赤十字グループの総合力を発揮した大規模災害への対応



- ・ 大規模地震対応計画の検証
- ・ 赤十字防災セミナー及び救急法等の講習事業の推進
- ・ 地域医療継続に向けたBCP(事業継続計画)の実行性の向上

② 複合的な人道危機をもたらす気候変動に対する取り組みの強化



- ・ 気候変動に対する具体的なアクションプランの実行
- ・ 気候変動緩和に向けた環境負荷低減策の取り組み実施

③ 人口構造の変化に対応した持続可能な事業(経営)基盤の強化



- 新たな会員、支援者等を拡大するための仕組みの構築
- 奉仕団等ボランティア活動の活性化及び参加促進にかかる体制整備
- 豊かな心を持った青少年の育成強化
- グループ経営を推進することによる赤十字病院の経営基盤の強化

④ これまでの新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた新興感染症への対応



- 新興感染症対策マニュアルの実効性の向上
- 事業のICT化による救急法等講習事業の実施体制強化

(2)事業・部門別の優先課題に対する主な取り組み

① 救護・社会活動等



- ・ 国際赤十字・赤新月運動の優先的人道課題への対応
- ・ 災害や感染症等の脅威に対する地域社会づくりに向けての姉妹社の基盤強化支援(開発協力)
- ・ 連盟理事社としての国際赤十字・赤新月運動全体の強化

② 医療事業等



- ・ 各地域における地域医療構想に基づいた医療提供体制の整備
- ・ 赤十字病院グループ全体の医療の質の向上(医療安全の確保、医療DXの推進)
- ・ 広く社会に貢献できる専門性の高い看護師の養成

③ 血液事業



- 将来の献血基盤の確立に向けた若年層への献血推進
- 血液製剤の安全対策の実施(輸血後副作用の減少を図る安全な輸血用血液の供給)

④ コーポレート

- 日本赤十字社創立150周年プロジェクトの企画・実施
- 国内外の「人道支援活動の“要”」としてのブランディング広報の強化
- 大阪・関西万博への赤十字パビリオン(国際赤十字・赤新月運動館)の出展
- 全社的なリスク管理能力の向上
- トータルリワードの視点からの職員の健康支援及び成長支援並びに多様性の推進

3. 令和7年度決算の概要(全体)

総額1兆4,249億円
(歳出決算の合算)

医療施設特別会計
1兆1,741億円 (82%)

(参考) 令和6年度決算額 1兆3,880億円

一般会計: 763億円

社会福祉施設特別会計: 157億円

医療施設特別会計: 1兆1,126億円

血液事業特別会計: 1,525億円

資金特別会計: 306億円

資金特別会計
317億円 (2%)

- ・退職給与資金 312億円
- ・退職年金資金 3億円
- ・損害填補資金 2億円

一般会計
429億円 (3%)

血液事業特別会計
1,597億円 (11%)

社会福祉施設特別会計
163億円 (1%)

※ 端数処理の関係から総額と内訳額は一致しないこと。

※ 医療施設特別会計及び血液事業特別会計においては収益的支出のみを合算していること